客論

カウンターテナー歌手 米良美一

寝たきり生活を救った音楽

たっぷり遊んだ夏休みがあっという間に過ぎ去って、4年生の2学期から私は西都市の三財小学校へ転校することになりました。6歳の時から特殊な環境で育てられてきた私にとって、広い世界に飛び出すことは少なからず不安があったのも事実です。しかし、元気いっぱいな子どもたちと一緒に時を過ごすうちに、そんな心配事はどこへやら（笑）。出足は好奇心いっぱいに楽しんでおりました。

4年1組に転入してきた私を温かく迎え入れてくださった藤本好子先生は、学校のみんなの憧れの的でした！　私も瞳をキラキラと輝かせて見とれていた1人です。そんなビューティーな先生のもと、にぎやかなクラスメートと一緒に充実した学校生活を送っていました。5年生に進級すると状況は一変。ちょっとした不注意から左側の足を骨折してしまいました。

このけがが呼び水になったかのように、以降私の両足は代わる代わる、いとも簡単に骨折を繰り返すようになったのです。小学校の卒業を目前に控えた晩秋、まだ前のけがの傷も癒えぬうちに松葉づえをついた私が学校の階段をゆっくり1段、そして2段と下ったところでいきなり「ボキッ！」。大きな音をたてて、まるで発砲スチロールや枯れ枝が容易に割れるかのように、私の大腿骨は真っ二つに折れていました。

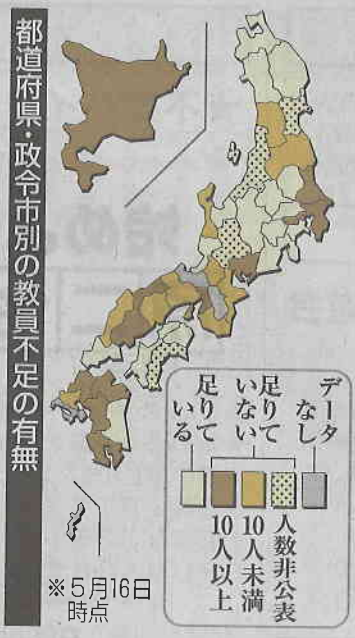
それから約2カ月にわたる寝たきりの入院生活…。通常でしたら金属のプレートやワイヤなどの固定具で、骨折している部位を接合する手術が施されるものですが、私の場合は先天的な病があるため、医師の判断により牽引療法が選択されました。牽引療法とは、骨折した足を装具で固定し、そこに砂袋を重りとして取り付けて、絶対安静を保ちながら骨の整復を待つという、動きの自由を奪われた実につらいものでした。

そうした中で、小学校最後の担任だった斉藤恵一先生は、入院生活がずっと続いてすっかり勉強に後れを取っていた私のため、日々の宿題や学習プリントに励ましのお気持ちを添えられて、毎日のように病院へ届けてくださいました。たくさんのご厚情を賜り、三財中学校へは入学こそさせていただきましたが、残念なことにこの時期の健康状態は極めて不安定でした。肉体は常に耐え難い痛みを抱え、また思春期の心には容姿のコンプレックスが重い苦悩を生みました。伸びない身長、誰が見ても分かる変形した身体の骨…。

中学1年の3学期に再び大腿部を骨折。「もう、てげのさん…赤江ん学校に戻りてぇ」。支援学校と併設された病院の方々が、迅速な受け入れ体制を準備してくださり、それはまさに〝地獄に仏〟。最初は常に寝たきりの状態でしたので、学校へ登校できない私は病室と教室とをつなぐテレビ回線システムで授業の様子を見ながらベッドの上で勉強する日々でした。

高等部へ進学するころには状態は見違えるほどの回復と安定を見せ始め、車いすによって行動範囲は広がり、リハビリの成果も加わって再び歩行できるようになりました。この頃より、私はわが人生の道標というべき〝音楽〟に、より強く傾倒するようになりました。寝たきり生活を救ってくれたのはカセットテープで朝な夕な聞いていた松田聖子さんの音楽でした。歌とともに人生を歩んでいけたら、そう意識し始めたのです。

めら・よしかず　1971年、西都市生まれ。カウンターテナー歌手。映画「もののけ姫」主題歌を歌い、一躍時の人に。東京都在住。



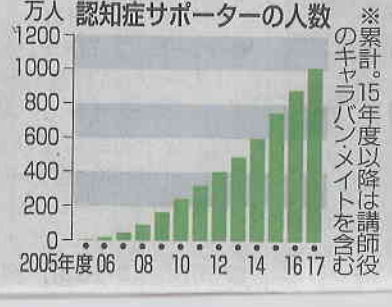
教頭や代

業務負担

人材確保 一線退き「悲鳴」

持つ知人約10人に後任を頼んだが、既に採用が決まっていたり「もう教員は辞めたい」と断られたりした。5月に入り、他の学年を担当していた教員がカバーしてやりくり。呉市教育委員会の担当者は「毎年、年度当初は非正規の先生が決まらない。代わりに入った教員の業務量が増えてしまう」と話す。

兵庫県宝塚市のある中学校で文部科学省教職員課によると、全国にある公立の小中高の教員数は約68万人。うち退職を前にした50歳以上は約26万人で、30～40代はそれぞれ16万人前後にとどまる（2017年度）。教員不足が深刻さを増す中、福島県教委の担当者は「国による全国的な施策がほしい。人を育てる仕事に人がいないのは致命的だ」と訴えている。



都道
北海
青岩宮秋山福茨栃群